

1 マスタープラン策定の目的

「京都市中央卸売市場第二市場^{みやこ}「京ミートマーケット」マスタープラン」(以下、「マスタープラン」という。)は、京都市とその周辺における食肉流通の要として、食肉の安定供給を行うための拠点として、また、京都の「食」文化を支え続ける拠点として大きな公的役割を果たしている。京都市中央卸売市場第二市場の今後の方向性を実現していくための重点戦略を明らかにすることを目的に策定しました。

2 計画期間

マスタープランは、平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)まで、10年間の計画とします。なお、計画期間の中間点である平成27年度に中間総括として、これまでの重点戦略の進捗状況を確認し、今後5年間で実施すべき取組をまとめました。

3 これまでの5年間の重点戦略の進捗状況について

① 市場の一体的運営と更なる公設民営化

- 卸売会社等関連事業者の一元化が実現しました。(平成26年3月)

② 運営会社の経営改革

- 卸売会社の中長期計画に基づく経営力強化の取組を推進しました。

③ 施設の改築

- 平成30年度の新施設稼働に向け、施設整備を推進しました。

④ 京都府との連携強化

- 府内産畜産物のブランド力強化に取り組み、また、施設整備に関する財政支援を要請しました。

4 今後5年間で実施する取組について

① 卸売会社の経営改革

- 受益者負担に耐えられる経営力強化に向け、経営改革に対する指導・支援

② 更なる民間活力の活用と運営経費削減

- 民間活力の活用に向けた検討及び実施

③ 施設の改築

- 新施設での操業開始(平成30年度)
- アジア圏をはじめ、北米やEUの輸出認定を取得

④ 京都府との連携強化

- 府内産畜産物の生産基盤の強化及びブランド力強化に向けた連携

⑤ 京都の食文化及び安全・安心な食への貢献

- 京都の食文化の発信及び食育に関する取組の推進
- 災害時にも安定した食肉供給を可能とする災害対応力の強化

5 重点戦略実施に基づく効果

○市場財政が改善(一般会計への依存度が低下)

- 繰入率の改善
- 新運営会社の運営の自立性が向上

○安全で安心な食肉を提供する施設への転換、戦略的な営業展開が実現可能

- 施設改築に伴う機能拡充で、食肉流通大手の参入促進・輸出対応等の戦略的な集荷・販売が可能。
- HACCP対応により市民の食の安全を更に推進
- 食文化の発信機能の強化

6 計画の推進

○基本協定の締結

- 京都市及び卸売会社が、マスタープランの取組に関して、「段階的实施条件付き基本協定」を締結(平成24年12月)することで、その実効性を担保しています。
- マスタープランの進捗評価に係る第三者評価会での進捗よく評価を行い、達成されていないと判断された場合には、達成されるまで次の段階へ進めないものとしています。

【計画の推進イメージ】

